

第 9 回

(通算3555回) 例会
令和5年9月7日
例会場：ホテルアークリッシュ豊橋

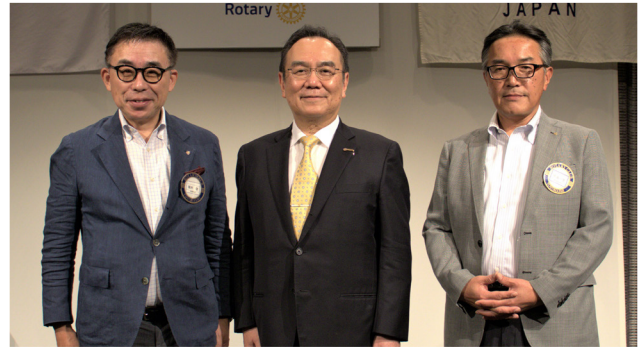
ロータリーの友月間にちなんで
～「ロータリーの友」を開こう～

雑誌委員会 担当



2023-24 RI テーマ ● 世界に希望を生み出そう

9月 ロータリーの友月間



福井 敬会長 池森 由幸
ロータリーの友委員会地区代表委員 雑誌委員長
荒島 一実

会長挨拶

福井 敬 会長

今年のサンマの卸値は1匹当たり2万5000円で、同市場では過去最高値だったそうです。農林水産省の「食用魚介類の自給率の推移」によると1960年頃に日本の食用魚介類の自給率は113%と国内需要を大きく上回っていましたが、年々下降して2016年には56%になってしまいました。今や日本の魚介類は輸入に依存している状況なのです。こうした深刻な魚の将来を前に資源量を考慮したり乱獲に繋がる漁法をやめることなどで認定された漁業による水産物を「認証魚介類」とする制度が世界的に広がりを見せています。しかし日本のスーパーマーケットや外食店では否定的な声が多くあります。実は現在ノルウェー等のヨーロッパや北米が漁業の先進国です。その証拠に漁獲量が減っているのは日本だけで世界の漁獲量は増えています。日本は温暖化のせいで魚が取れないと言っていますが、資源管理せずに取り放題を放置してきたツケが回ってきているのです。このままでは魚介類そのものが日本の近海で獲れなくなり、輸入も出来なくなってしまうのかもしれません。寿司屋や定食屋も魚を提供できなくなり、スーパーマーケットからも魚が消えてしまい、日本人が魚を食べられなくなる日が来るかもしれません。持続的に魚を食べるためには日本の漁業を根本から変えていく姿勢が必要だと思えます。

趣旨説明

荒島 一実 雑誌委員長

本日はロータリーの友委員会地区代表委員の池森由幸様に卓話をさせていただきます。特に若い会員の方はまずロータリーの友を開いていただいて、どこに関心を持ってどの様に読み進めていけば良いかを考えるきっかけにさせていただきたいと思えます。

池森様は名古屋千種RCに1999年に入会され、2011-2012年度に会長を務められ、その後地区で数々の委員を務められています。本日は興味を持って拝聴させていただきたいと思えます。

最近の「ロータリーの友」について

池森 由幸 ロータリーの友委員会地区代表委員

「ロータリーの友」はロータリーの公式な情報誌です。ロータリーでは「地域雑誌」と呼んでいます。地域雑誌とは世界各地にあるロータリークラブがその地域の言葉と活動内容に合わせて作っている、ロータリアン向けの情報誌のことです。また、日本の場合は、その情報誌を発刊している事務所のことも示しています。このロータリーの友事務所は、ロータリーの友を発刊することを主な業務にしている独立した組織で、編集から印刷までを行っています。情報誌というのはクレジットカード会社が発刊している、クレジットカード会員向けの情報誌のようなものと捉えると分かりやすいかもしれません。クレジットカード会社の情報誌はクレジットカードを使って購買を促すための直接的な販売促進用のコマーシャルだけでなく、興味を引き立てる企画記事も数多く掲載されています。これらの企画記事はクレジットカード会員が興味を持ってくれそうな情報を書いて、それによって間接的に購買意欲を引き立てるように構成されています。

それに対し、ロータリーの友はロータリー活動の魅力をロータリアン向けに特化して編集してあります。しかも最新の情報を掲載しているところが特徴的です。ロータリーの友は、国際ロータリーからの公式な情報伝達の間であり、RI会長メッセージ等の指定記事を掲載しています。指定記事は世界各国で地域の言葉に翻訳されて掲載されています。また、ロータリー活動の情報提供や情報発信の間であり地区やクラブの活動、ロータリアン個人の経験談、職業上の知識など会員の皆さまからの投稿をもとにして掲載しています。更に、パズルや囲碁、俳句、短歌、川柳等の趣味の発露の間でもあります。

世の中のIT化に伴って、ロータリーの友のデジタル化が進んでいます。電子版のページに入っていると、創刊号からの全ての号が並んで表示され、閲覧

することが出来ます。また、内容は印刷物と全く同じです。電子版の良いところは検索の機能があり、関連する記事を探すことが出来ます。また目印を付けることやページを選んで印刷することも出来ます。この様にロータリーの友には印刷版と電子版があるので、好きな方を選択していただきたいと思います。

ロータリーの友はロータリアン向けで参加型の広報ツールとご理解いただければ幸いです。ロータリーの友も進化しています。改めて一度目を通していただいでロータリー活動のお役に立てていただければと思います。

近況報告 2014-15年度青少年交換学生 松本 かなさん



私は高校2年生の時にロータリー青少年交換でアメリカに派遣していただきました。その後日本へ戻り高校3年生を過ごした後に、オハイオ州の大学でコンピューターサイエンスを勉強しましたが、解剖学に興味を持ち医学部へ移りました。勉強漬けの生活ですが、合間にバイオリンの演奏やボランティア活動に参加し、とても充実しています。留学を重ねて感じることは、高校生の内に一度海外へ出る機会があって本当に良かったということです。大学で留学した際は一留学生として扱われるため、自ら探しに行かないとサポートを受けられませんが、青少年交換の時はロータリーの皆さまが顔を見るたびに声を掛けてくださいました。また、ホストファミリーとは現在もお付き合いがあり、第二の家族がアメリカにできたことは本当に良かったと思っています。私の留學生活のきっかけとなった青少年交換に参加させていただいたことに感謝いたします。

100%出席者代表挨拶 青木 公貞 会員



100%出席で思い出すのは花田利雄さんに「例会に出席して見聞を養いなさい」と教えられたことです。人間は年を取るにつれてエネルギーを使わなくなり、脳も使わないと劣化してしまいます。それを防ぐためには脳に刺激を与えることが必要です。ロータリーで様々なお話を伺って、面白いと感じる自分を維持していくことは大切で、長生きに繋がるのではないかと思います。

本日のゲスト

ロータリーの友委員会 地区代表委員 池森 由幸 様
米山奨学生 ブレンテグシ エンフバヤスガラン 君
2014-15年度青少年交換学生 松本 かなさん

幹事報告 伊藤 晴康 幹事

1. 例会終了後に4階グリーンルームにて理事会を開催します。

ニコニコBOX

山本 勤司 ニコニコ委員

- ロータリーの友地区代表委員池森由幸様、ようこそ豊橋RCへ
福井 敬 会長 伊藤 晴康 幹事
- ロータリーの友月間ですので、ロータリーの友についての卓話で伺いました。よろしくお祈いします
池森由幸 ロータリーの友地区代表委員
- 池森由幸ロータリーの友地区代表委員様、豊橋RCへようこそ。私のガバナー年度では地区公共イメージ向上委員長として色々無理を聞いていただき、ありがとうございました
村井 總一郎 PG
- 池森由幸さん、ようこそ豊橋RCへ
高山 景一 会員
- 松本かなさん、ようこそ豊橋RCへ。近況報告を楽しみにしています
福井 敬 会長 伊藤 晴康 幹事 松坂 良太 会員
- 本日の例会を担当させていただきます。池森様よろしくお祈いいたします
荒島 一実 雑誌委員長
- 前年度例会100%出席者32名を代表して挨拶させていただきます
青木 公貞 会員
- 出席委員として、はじめて報告させていただきます
浦野 文博 出席委員
- 2023年8月27日(日)カンボジアでのABUロボコンで、豊橋技科大ロボコン同好会が世界一になりましたのでご報告します。皆様のご支援に感謝します
寺嶋 一彦 会員
- お弁当のご注文ありがとうございます。本日の卵焼きの前にあったマグロの照り焼きのマグロは、伊良湖漁港で揚がった50kgのキハダマグロを使用しました。伊良湖漁港でマグロが揚がるのは初めて見ました。黒潮が近づいているのでしょうか
鈴木 良昌 会員 (順不同)

歌

ソングリーダー 山本 光伸 会員



「君が代」
「それでこそロータリー」

誕生祝い



高須 博久 会員 (S.25年9月5日生) 松岡 真由美 会員 (9月12日生) 松井 大輔 会員 (S.47年9月9日生)
紅林 友昭 会員 (S.34年9月11日生) 高橋 豊彦 会員 (S.38年9月8日生)

出席報告

浦野 文博 出席委員

当日出席者 81名 計算会員数 100名中19名欠席
総会員数 112名 出席率 81.00%

例会予定

- 9月14日(木) 卓話「気候変動への対応
～大雨時の地域防災について～」
- 9月21日(木) クラブ・フォーラム「社会奉仕」(夜間)